

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合(翻訳の遅れによる場合を含む)、英語版が優先します。

AWS 責任ある AI ポリシー

最終更新:2023 年 9 月 28 日

本 AWS 責任ある AI ポリシー(以下、「本ポリシー」)は、当社が提供する人工知能と機械学習サービス、機能、および特性(サードパーティのモデルを含みます)(以下、総称して「AI/ML サービス」)の利用に適用されます。本ポリシーは、[AWS 利用規約](#)および [AWS サービス利用規約](#)を補足するものです。

禁止事項。以下を行う目的で、AI/ML サービスを利用し、または他者に利用を促し、もしくは利用を許可することはできません。

- 意図的に偽情報活動や欺瞞行為を行う
- 違法な追跡、監視、特定など、他者のプライバシー権を侵害する
- 無許可のなりすましや同意のない性的画像など、本人の同意やその他の適切な権利を得ることなく、人の声や肖像を描写する
- グルーミングや児童の性的搾取など、未成年者に危害を与えたり、虐待したりする
- 個人または特定のグループに対して嫌がらせを行ったり、危害を加えたり、危害を加えるよう促したりする
- 安全フィルターや安全保護機能を意図的に回避したり、モデルに当社ポリシーに違反する行動を促したりする
- 人間の許可や制御なしに、武器の殺傷機能を実行する

責任ある AI の要件。AI/ML サービスを利用して重大な意思決定を行う場合は、ユースケースの潜在的なリスクを評価し、適切な人間による監視、テスト、およびその他のユースケース固有の保護手段を導入して、そのようなリスクを軽減しなければなりません。重大な意思決定には、人の基本的な権利、健康、または安全に影響を及ぼすもの(例えば、医学的診断、司法手続き、住宅や政府給付などの重要な給付へのアクセス、教育などの機会、従業員の雇用または解雇の決定、融資/クレジットの利用、法律・財務・医学上の助言の提供など)が含まれます。利用者は、AI/ML サービスの利用目的および本ポリシーの遵守に関する情報を、要求に応じて提供することに同意するものとします。

利用者および利用者のエンドユーザーは、利用者による AI サービスの利用に基づいて下したすべての決定、提供した助言、講じた対応策、講じなかった対応策について責任を負います。AI/ML サービスは、データのパターンに基づき予測を生成する機械学習モデルを使用しています。機械学習モデルによって生成されるアウトプットは確率に基づくものであり、生成 AI は不正確または不適切なコンテンツを生成する可能性があります。アウトプットについては、正確さとユースケースに関する適切さの評価を行う必要があります。

AWS は、[AWS 利用規約](#)に記載されているとおり、本ポリシーの違反を調査し、執行することがあります。AWS は、責任を持って、安全、公正、正確な AI および ML サービスを開発し、AI および ML アプリケーションを構築・使用するためのツールやガイダンスを提供することに努めています。その他のツールとリソースについては、[責任ある AI と ML の利用のページ](#)をご覧ください。